

「第1話：ミトコンドリアをざっくり紹介」

台本（案）

【テンプレ（OP）】

とよ：生物をざっくり紹介するラジオ、略してぶつざく、パーソナリティーのとよです。

かんとく：同じくパーソナリティーを務める かんとく です。

とよ：この番組は生物にまつわることをざっくり紹介する番組です。

かんとく：初回なので、この番組について、ざっくりでいいから教えてください。

とよ：ではざっくり。生物は、身近に存在しているのに、自分のことなのに、よく考えてみると不思議なこと、知らないことで溢れているんです。だけど、気にも留めていないと見過ごしてしまうものばかり。そういったものにスポットライトを当ててざっくり紹介していく番組です。ざっくりなので、全てを伝えることはできませんし、なるべく多くの人に届けばいいなと思っているので、あまり深くて難しいところまでいかず、それでも少しでも面白いなと感じてもらえるような番組を作っていく予定です！そして、この内容がリスナーの皆さんの何かになればいいなと思っています。

～ 雑談 ～

【テンプレ（本編）】

かんとく：今日は何を紹介するんですか？

とよ：今日はミトコンドリアについてざっくり紹介します。

・ミトコンドリアって？

細胞の中にある細胞小器官の一つ／細胞一つあたり平均300～400ほどある（いる）。／体重の約10%を占める。／大きさ0.5～1.0 μm (0.005～0.01mm) ／二重の膜で覆われている。

・何してる？

ATPというエネルギーの源を作っている。（細胞呼吸は別話）（ATPは別話）

・どうやって？

酸素とグルコース（厳密に言うとピルビン酸）から（グルコースは別話）

・どうやって受け継がれるの？

お母さんから（ミトコンドリアイブは別話）

・どこからやってきたの

細胞外から（共生説は別話）

・結局何者？

独自のDNAを持っていて、半自律的に増殖可能・ヒトの細胞にはもちろんいるし、他の動物の細胞にもある。けど、持ってない生物もいる／ミトコンドリアは昔は独立した好気性細菌の一種であり、別の生き物だった。細胞は大昔、ミトコンドリアのDNAを吸収し、細胞外で生きていけないようにした。（DNAは別話）／今は細胞の一部として存在し、ヤヌスグリーンという染色液で染めると青緑色に発色し、観察することができる。

～ 雑談 ～

【テンプレ（ED）】

とよ：お聞きくださり、ありがとうございました。ぶつざくは皆様からの温かいお便りを募集しています。

概要欄のGoogleフォームからお送りください。

かんとく：また、少しでもいいなと思っていただけたらフォローもしてくれると嬉しいです。

とよ：今回紹介した内容は「ざっくり」だけです。これ以降の深掘りに関しては、リスナーの皆様に委ねます。

かんとく：ではまた次回お会いしましょう。

とよ・かんとく：お疲れ様でしたー。

【ストーリー紹介】

第1話は「ミトコンドリア」についてざっくり紹介します。

ミトコンドリアは全ての生物の細胞に存在しています。

そんなミトコンドリアがなにをやっているのか…。

この話では「とよ」と「かんとく」がパーソナリティーを務めます。

【参考】

・三訂版フォトサイエンス生物図録（数研出版）

・ミトコンドリア - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ミトコンドリア>

・機能低下したミトコンドリアを活性化させる化合物（理化学研究所）

https://www.riken.jp/press/2020/20201110_1/index.html

・もう君なしでは生きられない！ミトコンドリアと細胞の不思議な関係（日本科学未来館科学コミュニケーターブログ）

<https://blog.miraikan.jst.go.jp/articles/20181221post-68.html>

【お知らせ】

初回放送は月曜日～日曜日まで毎日連続配信します。

次回、10月12日火曜日の第2話は「葉緑体」について紹介します。

番組に関する暖かいお便りはトップページの概要欄にある、Google フォームからお送りください

